



ニュースの杜

今月の特集

AYA世代をサポートする支援

みなさんAYA世代をご存知ですか？

がん以外の疾患でも当てはまりますが、今回はAYA世代のがん患者さんをサポートする支援について紹介したいと思います。



AYA支援チームリーダー
腫瘍内科医師 秋山 聖子先生

AYA世代とは Adolescent and Young Addult (思春期・若年成人、15～39歳)を指します。この年代では妊娠・出産、子育て、就労など、様々なライフイベントが起こるため、AYA世代のがん患者は特有の問題を抱えています。AYA世代のがん患者を支援することを目指して、2022年9月1日に仙台医療センターAYA世代支援チームが発足しました。

チームメンバーは医師（腫瘍内科、産婦人科）、薬剤師、看護師（がん診療連携室師長、外来師長、病棟師長、がん化学療法認定看護師、がん専門看護師、周産母子センター助産師）、社会福祉士の10名で構成されています。患者は腫瘍内科、血液内科、乳腺外科、産婦人科、泌尿器科のAYA世代がん患者を対象としています。

活動内容としては身体的な問題、家族に関する問題（妊孕性温存を含む）、日常に関する問題（経済的問題を含む）、気持ちに関する問題等に対応するため、専用のスクリーニングシートを準備しました。このAYA世代専用のシートを用いてスクリーニングを行い、問題を抱える患者さんが発生した際には、早急に個別の症例カンファレンスを開催し、問題解決に関して情報提供、相談および意思決定支援を行っています。

AYA世代サポートチーム：スクリーニング・利用方法

対象：15-39歳

AYA世代（15-39歳）がん患者さんに、入院時「AYA世代苦痛のスクリーニング」シートを渡して記載してもらう

つらさの寒暖計：4以上
問題リスト：「はい」が2個以上ある
※問題リスト「はい」が1個でも苦痛が強い、あるいは患者の希望があった時も可



つらさの寒暖計：3以下
問題リスト：「はい」なし

患者用ファイルにはさむ
退院時スキャン取り込み

- ①つらさや困っていることについて患者さんから話をきき記録
- ②「AYA世代苦痛のスクリーニング」をスキャン依頼（※テンプレートの入力不要）
- ③テンプレート介入依頼書「AYA世代がん患者用」入力
- ④地域医療連携室（2115）に連絡



AYA世代サポートチーム招集・会議

サポートについて病棟にフィードバック
記録・返信

患者サポートセンター
医療相談室
がん相談支援センター
相談時間
8:30~17:15



医療ソーシャルワーカー
小倉美緒

AYA世代の方たちは、さまざまなライフイベントに直面する時期に「がん」という病気を抱え、身体的・精神的・経済的にいろいろな影響を受けたり、将来に対する不安を感じたりすることも少なくないと思います。不安や悩みを抱え、どこ（だれ）に相談したらよいかわからないときは、がん相談支援センターにご相談ください。

がん相談支援センターでは、治療費の相談などのほか、治療を続けながら働きたい患者さんや、経済面で不安を感じるたくさんの方たちを支援する「就労支援」も行っております。実際には、相談員が患者さんやご家族の困りごとをお聞きし、解決に向け、専門的立場から一緒に考える相談の場となっています。また必要に応じてハローワークや産業保健総合支援センターなどにお繋ぎすることも可能です。皆さんが、安心して治療に臨んでいただけるよう、治療とお仕事の両立が可能になるよう、お手伝いをさせていただきますので、いつでもご相談ください。

妊孕性温存をご存じですか？



妊孕性とは、妊娠するための能力や生殖能力のことです。手術や化学療法、放射線療法の直接的な障害、抗がん剤の副作用などによって生殖能力が損なわれる場合があります。そのため、治療前にあらかじめ精子や卵子、精巣組織や卵巣組織を採取・保存したり、人工授精で受精させた受精卵を保存しておくことを「妊孕性温存」といいます。宮城県では、「宮城県がん・生殖医療ネットワーク」を通して、妊孕性温存をサポートしています。希望がある場合、登録票を主治医が記載しコーディネーター施設（東北大学病院、宮城県がんセンター）を受診します。カウンセリングで適応があると判断された場合、生殖医療施設（東北大学病院、仙台ARTクリニック、京野アートクリニック、スズキ記念病院）で妊孕性温存療法を受けることになります。料金は自費ですが、宮城県では助成金が利用できます。がん診療に関わる一員として、「妊孕性温存」という選択肢があることの説明、患者さんの意思決定支援をお願いします。



妊孕性温存療法とは？

	卵子（未受精卵）凍結保存	胚（受精卵）凍結保存	卵巣組織凍結保存	精子凍結保存
対象	<ul style="list-style-type: none"> 未婚の女性 がん治療開始まで時間的な余裕のある女性 	<ul style="list-style-type: none"> 配偶者がいる女性（事実婚含む） がん治療開始まで時間的な余裕がある女性 	<ul style="list-style-type: none"> 初経前の女性 がん治療開始まで時間的余裕のない女性 <small>※日本での実施例は多くない</small>	<ul style="list-style-type: none"> 精子採取が可能な男性
期間	<ul style="list-style-type: none"> 2-6週間 	<ul style="list-style-type: none"> 2-6週間（卵巣刺激に約2週間） 	<ul style="list-style-type: none"> 1週間（手術のため数日必要） 	<ul style="list-style-type: none"> 射精の場合は短時間 何度かとおくことも可能
費用	<ul style="list-style-type: none"> 初期費用 20-40万円 維持費用 数万円/年 顕微授精 約5万円 	<ul style="list-style-type: none"> 初期費用 30-50万円 維持費用 数万円/年 凍結融解胚移植 10-15万円 	<ul style="list-style-type: none"> 初期費用 60-80万円 維持費用 数万円/年 卵巣組織移植 60-80万円 	<ul style="list-style-type: none"> 初期費用 約5万円 維持費用 2-6万円/年 凍結精子を使った顕微授精 約40万円

アピアランスケア と おしゃれ講習会



がん化学療法看護認定看護師
高橋明菜

アピアランスケアとは、脱毛（頭髪、まつ毛、まゆ毛等）、皮膚や爪の変色、爪の変形、手術の傷あとなど、治療によって起こる外見の変化に対して、患者さんの悩みに対処し支援することです。必ずしも治療前と同じ姿に戻るのではなく、自分らしく心地よく過ごせることが大事になります。

当院のアピアランスケア支援の一環として、月1回「おしゃれ講習会」を開催しています。化学療法に伴う脱毛や色素沈着・爪の変形等への対策を、認定看護師・薬剤師・美容室スタッフとともに患者さんとご家族へ情報提供を行う会です。ウィッグの試着やネイルを試すこともできます。外見の変化への対処方法を知る事で、治療に前向きに取り組めるよう支援しています。病院スタッフの見学も可能なので、気になる方はお気軽にお声がけください。

おしゃれ講習会は当院サービス棟2階「健康・情報コーナー」で
毎月1回開催しています



アピアランスケア外来

医療美容専門家
瀬戸真由美

がん治療中に伴う外見の変化の悩みや心理的影響をサポートする病院内でのサバイバーシップ支援体制の重要性が認識されています。当院では月2回医療美容専門家によるアピアランスケア外来を実施しています。治療によって生活に支障をきたしていることへのケアやトレーニングをしながら情報提供を行い、支援をしています。

対応内容は、①脱毛、再発毛、ウィッグ②乳がん術後の下着やパット③爪障害④スキンケア⑤メイク等になります。

乳腺外科外来から予約可能です
主治医の許可を得てから予約をお願いします

健康まつりに「AYAサポートチーム」参加しました！ これからも啓蒙活動がんばります

ウィッグ試着



ネイルお試し



ヨガ体験



お薬・お金・お仕事相談



メイク方法



編集後記

普段救急の場で働いており、抗がん剤治療による妊孕性への影響、必要とされる支援についてあまりわかっていませんでした。AYA世代の定義自体は知っていましたが、実際にどういう支援が必要で、どういう取り組みを病院として行っているのか知らなかったため私自身もとても勉強になりました。告知を受けた際に病気のことだけでなく今後の自分の人生のことや仕事とお金のこと、家族のこと多くの不安を受けると思います。そのような時にしっかりサポートできるようにするために今回AYA世代への支援について学べてよかったです。

発行：高橋明菜
担当：吉田美貴子
管理：